

平賀司教の紋章

大聖堂の入口には平賀司教の紋章があります。これも司教座聖堂ならではのものです。“Ut filii lucis”とはラテン語で「光の子として」(エフェソ 5:8b,10)という意味です(制作:欠畑美奈子さん)。



仙台キリシタン殉教碑

大聖堂 2 階には、仙台キリシタン殉教碑の原型(石膏製)があります。1624 年 2 月、広瀬川で 9 名の司祭・信徒が殉教しました。中央がカルヴァリオ神父(福者)、左が武士、右が農民です。殉教碑は西公園内にあり、毎年 2 月の最終日曜日に殉教祭がおこなわれています。制作:深澤守三神父(仙台教区司祭・2006 年帰天)。



ルルド

教会前庭にあるルルドは、南フランスの聖地ルルドにちなんだものです。聖母マリアが 1858 年に少女ベルナデッタに出現されたことを記念しています。



カトリック元寺小路教会 2008 年 9 月作成

元寺小路教会 聖堂案内

<大聖堂 1F>

元寺小路教会は、聖ペトロ聖パウロを守護者にしており、大聖堂入口には、その二人の聖人にちなんだシンボルがあります。



左から聖ペトロ、逆十字、聖パウロ



逆十字と聖ペトロ聖パウロのレリーフ

正面の窓枠は、聖ペトロのシンボルである「逆十字」(さかさじゅうじ)です。ペトロは紀元 67 年ごろローマで十字架につけられ殉教したとされています。その際ペトロは主イエスと同じではなく、逆に十字架につけられることを希望したといわれます。逆十字はペトロの謙虚な人柄を表しています。

大聖堂入口の左右には、ペトロとパウロのレリーフがあります。左側の鍵を持っているのがペトロ、右側の巻物(聖書)を持っているのがパウロです。



ステンドグラス

大聖堂の中には2ヶ所にステンドグラスがあります。

祭壇に向かって右側の洗礼盤奥のステンドグラスは、主の洗礼(マタイ 3:16～17)を表しています。ヨルダン川の水の流れと天から降る鳩のような霊が表現されています。

祭壇に向かって左側の4枚のステンドグラスは、この大聖堂が仙台教区の司教座聖堂であることを象徴しています。すべての被造物が神をたたえ歌う「詩編 148」のように、仙台教区の4つの県の海や山、平野などの大自然が神をたたえる交響詩をイメージしています。横の線は五線譜で、音符のように見える丸い形は星を表しています。

聖母子像

大聖堂左側の聖母子像は、通常のものとは少し違い、聖母がイエスを抱かず両手を開いています。これは聖母がイエスを私たちに差し出してくださったことを表しています。



<小聖堂 2F>

キリスト像と聖櫃

小聖堂のキリスト像は、復活のキリストです。手と足には釘のあとがありますが、もう十字架にはつけられていません。聖櫃の扉には、石でできたパンと魚の絵があります。復活されたイエスが弟子たちに現れ、パンと魚で食事をともにされた(ヨハネ 21:1)ことを象徴しています。



十字架の道行

小聖堂の十字架の道行の絵は、最後の晩餐・ペトロの否認・イエスの復活・エマオの旅人などの場面があるユニークなものです。



大聖堂のステンドグラス・小聖堂のキリスト像・十字架の道行の製作者は、ジル・カロン神父(ケベック外国宣教会)で、聖堂内外のデザインの数々にも典礼・芸術面からアドバイスをいただきました。聖堂は1993年7月に完成し、佐藤千敬司教により献堂式がおこなわれました。